

2021 年 6 月 4 日

佐倉市長 西田三十五様

佐倉市議会議員
玉城清剛
稲田敏昭
高橋とみお

64 歳以下対象者の新型コロナワクチン接種券を早期に発送し 受付システムの増強を求める要望書

本年 6 月 1 日に配布された「こうほう佐倉 No. 1358」にて、64 歳以下対象者への接種クーポン券（以下「接種券」とする）の発送時期を、当初予定の 6 月中旬から、優先順位の高い市民には 7 月中旬、その他一般の市民には 8 月中旬とするスケジュールが示されました。

他方、現在国や県がすすめている、当該対象者を前提とした集団接種会場が早期に設置された場合、接種券発送の遅れが集団接種会場での佐倉市民の接種機会を失わせる結果につながるなど、市民への不利益の発生が懸念されます。

佐倉市の現状計画にある「基礎疾患を有するかた」、「高齢者施設などに従事するかた」及び「60 歳から 64 歳の方」を優先接種する、という方針には賛同しますが、厚生労働省は「基礎疾患を有する方とそれ以外の方をあらかじめ、自治体で把握し、接種券の発送を分ける必要はありません。」とし、優先順位の選別は「接種予約する方の自己申告で十分」、とする見解を示しています（※1）。

また、市民へ接種券を一斉配信した場合受付業務が混乱する、という懸念については、あくまで市民の自己申告を前提とし、優先接種者や年齢別に予約期日を切り分ける施策で足りると思います。

そのような「市民の善意に対する信頼」を市長自らの言葉で伝え、佐倉市民にお願いをする姿勢を示せば、厳密な優先接種の調査をすることなく、上記対象者のワクチン予約業務を円滑に行えるものと思います。

とはいえ、特に受付システムについては、上記対象者の受付開始時にはさらなる増強が必要です。受付対象者の若年化により、インターネットに親和性の高い市民となることとあわせ、優先接種者だけでも対象市民は 2 万人を超えるため、これまでで最大のアクセスが想定されます。5 月 20 日、21 日の回線では、再度同じ混乱が発生することは必至です。

以上を踏まえ、以下の点についてご対応くださいますよう、ここに要望いたします。

（※1 厚生労働省健康局健康課予防接種室 2021 年 6 月 2 日発出「新型コロナウイルスワクチンに係る予防接種の高齢者に次ぐ接種順位の者（基礎疾患を有する者等）への接種の開始等について（疑義照会追加その 2）」：問 3、及び問 4）

記

上記をふまえ、佐倉市における 16 歳から 64 歳までの市民を対象とした新型コロナウイルスワクチン接種券の発送と受付システムに関して、以下の通り要望します。

- ① 接種券の発送を、現計画のような優先接種者の調査の後とせず、極力早いタイミングで、全対象者に一斉発送とする
- ② これまでの経験をもとにした、予約受付システムの回線容量の増強、負荷分散等による集中アクセス対策の強化

以上、よろしくお願いいたします。